

別荘地における利用者ニーズに合わせたドローン配送事業 概要シート

【実施事業者】

- 実証フィールド提供事業者
藤和那須リゾート株式会社
(本社 栃木県那須郡那須町 / 代表取締役社長 岩本大二郎)
- 未来技術企業 (実証事業を行う企業)
パーソルビジネスプロセスデザイン株式会社
(本社 東京都江東区 / 代表取締役社長 市村和幸)

【実証概要】

- パーソルビジネスプロセスデザイン株式会社による別荘や宿泊施設における利用者ニーズに合わせたドローン配送事業

【実証フィールド】

- 那須ハイランド内の下記地点
出発地点：那須ハイランドパーク
(栃木県那須郡那須町高久乙3375)
配送地点：TOWAピュアコテージ Miwatas Nasu (ミワタス ナス)
(藤和那須リゾート所有地内 貸別荘)

【日程】

令和6 (2024) 年12月21日 (土) 10:30~14:30 (受付開始10:00)
*予備日：12月22日 (日)

【実証事業の内容】

今後一層深刻となる物流ドライバー不足問題の解決や災害時など緊急時の物流への活用を実現するため、山間部でドローンを用いた物流実証実験を行い、実績データを収集するとともに、課題を抽出するなど、ドローン配送サービスの導入・実用化を目指す。

また、特別感の演出という配送サービスへの付加価値による二次的効果を図り、安全を考慮した上で一部見学、記念写真撮影等を実施する。



<具体的な実験の流れ>

1. ユーザー (宿泊者想定) からのリクエスト送信
2. リクエストに応じた配送品のルーティング、指示
3. 配送指示を受け、配送元から配送エリアへ配送
4. 上記の運行データに加え、ユーザー側の満足度などのデータを蓄積、課題点の抽出

A) 出発地点
⇒那須ハイランドパーク B駐車場から出発予定



B) 配送地点
⇒オフグリッドグランピングの実証実験中「Miwatas NASU」のウッドデッキに着陸予定



【実証後の展開 (社会実装の見込み)】

藤和那須リゾート内での食品や日用品の迅速な配送を行い、宿泊者の利便性を向上させるとともに、環境に優しい持続可能な物流システムの構築を推進する。
また、高齢化する別荘所有者の空き家対策としてのサービス確立・利用を図り、二地域居住化促進にも貢献する。

AIを活用したデジタル新聞教材実証事業 概要シート

【実施事業者】

- 実証フィールド提供事業者
株式会社下野新聞社
(本社 栃木県宇都宮市 / 代表取締役社長 若菜英晴)
- 未来技術企業 (実証事業を行う企業)
株式会社デジタル・ナレッジ
(本社 東京都台東区 / 代表取締役社長 埜弘明)

【実証概要】

- 株式会社デジタル・ナレッジによるAIを活用した子どもの学力に応じた記事の変換

【実証フィールド】

- 実証フィールド提供事業者の株式会社下野新聞社に運営本部を設置

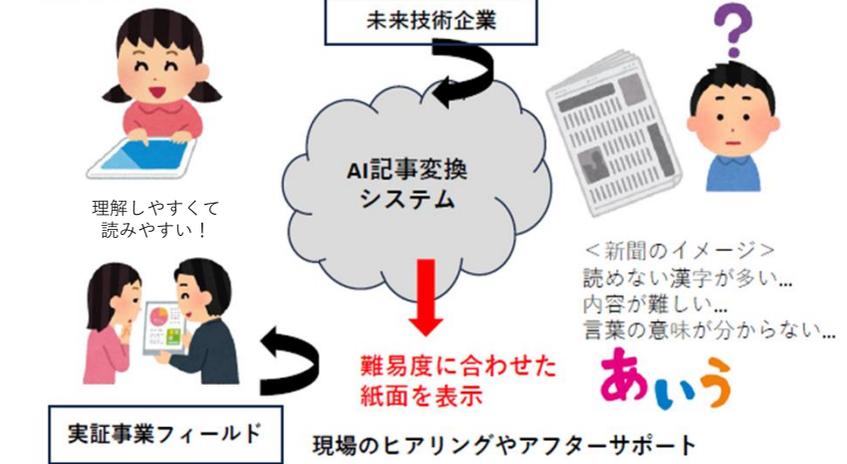
【日程】

令和6(2024)年11月18日(月)から
サービス提供開始

【実証事業の内容】

「令和5年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書(総務省)」によると、10代の毎日の新聞閲読時間は“ほぼ0分”と、若者の新聞離れが顕著になっている。本実証事業では、AIを活用し、小学校低学年・高学年、中学生、高校生という4段階の学習レベルに合わせた新聞記事の文章変換システムを導入する。このシステムにより、それぞれの読者の学習レベルにあわせた文章で構成された新聞記事を表示し、児童生徒の読む意欲の向上、読解力の向上を目指す。

<AI記事変換イメージ>



実際の記事

県内には自校プールの利用を停止している学校が69校あることが、下野新聞社の取材で分かった。築50年前後のプールが多く、老朽化していることが主因となっており、学校の担当者は「いつ壊れても不思議はない」と懸念する。

小学校高学年向け

栃木県内には学校のプールを使っていない小中学校が69校あることが、下野新聞社の取材で分かりました。50年ほど前に作られ、古くなったプールが多いことが主な理由で、学校の担当者は「いつ壊れても不思議はない」と心配しています。

変換

【実証後の展開(社会実装の見込み)】

サービス利用した学校等の声をアンケートで収集・分析し、システムの改良等を検討し、栃木県内全域の学校に対してサービス提供を図る。